

年頭のごあいさつ

日本アイ・ビー・エム健康保険組合

被保険者ならびにご家族のみなさまにおかれましては、日頃より当健保組合の事業運営につきまして多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

■ 昨年はすべての団塊の世代が後期高齢者となる「2025年問題」に直面した年でした。総人口の5人に1人が後期高齢者という日本では、高齢者医療への拠出金の増加によって健保財政が今後ますますひっ迫することが予想されます。同時に、高齢者の医療費を支える現役世代の負担軽減についても、対策に注力していかなければなりません。これは超高齢社会であると同時に少子社会である日本において、喫緊の課題となっています。

こうしたなか健康保険組合連合会は、「ポスト2025」新提言をまとめました。国民のみなさまに向けて、「制度への理解」「健診をきちんと受診」「セルフメディケーションの心がけ」の「3つのお願い」を提示しています。一方、健保組合としては「健診を受診しやすいような働きかけ」「丁寧な保健指導」「健康づくりに役立つ情報発信」「職場環境に応じた予防・健康づくりへの取り組み」の「4つの約束」を掲げています。当健保組合といたしましても、これらの提言を念頭におき、事業を進めてまいります。

今年4月からは、子ども・子育て世帯を社会全体で支える新たなしくみ「子ども・子育て支援金」が導入されます。事業主・加入員のみなさま方にはご理解、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、みなさまの本年の健康とご多幸を心よりご祈念申し上げて、年頭のごあいさつとさせていただきます。